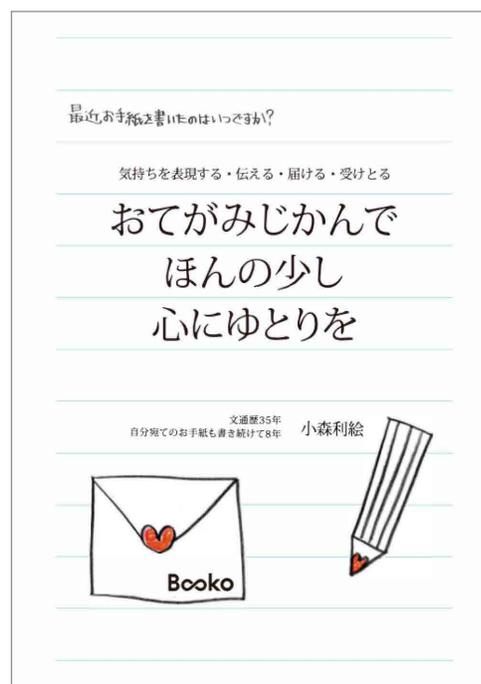


薄れる手紙文化を守り続けて、 文通歴 35 年。

新しい手紙の書き方の本を出版

“秒”で伝わるネット時代に、
時間と手間をかけて想いを伝える手紙は
文化活動

書籍URL：<https://amzn.asia/d/dJBBvpP>
Booko出版：<https://books.booko.co.jp/>



スピード重視の今こそ、手紙で“無駄を楽しむ”

文通歴 35 年から編み出した、新しい手紙の書き方とは？

20 年間、ライターとして活動する文章のプロが、

主宰するお手紙の会「おてがみいと」での活動や体験などを交えてメソッド化



旅先から自分に絵葉書



毎年春に、自分宛てにお手紙



身近な人にこそお手紙



心に残る、誰かへの想いを手放す



お手紙で文章力アップ

疲れた人
自分を取り戻したい人
深く人と関わりたい人
におすすめ！

目次

1章 ゆるやかな時間を体感

いろんな「私は」を思い出す / 年に一度のやりとりが育む、つながり / 1通1通、知り合っていく / 誰かと一緒に、お手紙を書く / お手紙を書き上げるまで / <コラム>私の日常にある“おてがみじかん”

2章 時空を小旅行する

また、届く。このときめき感 / お手紙を、旅のお土産&思い出に! / 1年後の自分へのお手紙は言葉のアルバム / “何か”を動かす、出せなかったお手紙 / <コラム>文通相手を通して広がる世界

3章 想像と創造を楽しむ

目の前の季節をわかちあう / 無地の封筒に「日常のつぶやき」を描く / バースデーカードをプレゼントに / 落ち葉で秋のお手紙づくり / <コラム>特別ではなく 普段着のお手紙を

4章 伝えないと、伝わらない

気持ちをやりとりする / 気持ちを具体的に伝える / 1枚に1話題の「ふきだしお手紙」 / 余白に付け足す「はみだしお手紙」 / 同じ今を生きる“誰か”と想いを贈り合う

★今回、ブログ感覚で本をつくることのできるウェブサービス「Booko」で自費出版

URL : <https://www.booko.co.jp/>

出版社は「ちょっと変わった人ほど、すごい作家になれる!」がモットーの「Booko出版」



Booko

著者・小森利絵より

たとえば、お手紙では冒頭に時候の挨拶を書くことが多いです。季節を感じていないと書けません。最近、葉が色づいてきたなあとか、息を吐くと白くなるようになったなあとか。季節を感じてみます。

自分の近況を書くにしても、自分が今どんな気持ちか、どんなことに興味があるかなど、自分と向き合って言葉にしていく必要があります。今、どんなことを思っていますか？

もちろん、お手紙の相手のことも考えます。以前会ったのはあの時だったとか、こんな話をしていたけど、どうなったのかなとか。元気にしていたらいいなあと思います。

そんな時間が時々でもあるのとないのとは違ってくると思っています。そんな時間を共有できたらいいなあ。そんな思いを込めた1冊です。

本件に関するお問合せ

担当 : えんを描く 小森利絵(フリーライター)

お問合せ先 : loopdrawing.canvas@gmail.com

URL : <https://www7b.biglobe.ne.jp/~loopdraw/>

